

自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリペア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科					2024年度	授業計画	
時 期	1年D巡	単元	実習	教科名	定期点検		
科 目	自動車整備作業・測定作業・自動車検査作業	教科書等 持参品	定期点検作業要領書（日産自動車）		発行日	2024年3月20日	
総時限	33時限（52時間）				教科担 当	教科担当	
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当							
自動車整備士として、自動車の定期点検の経験がある教員により定期点検基準に則った指導をする。							
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）							
1 2ヶ月点検項目作業及び日常点検項目を指定された時間で点検する。 定期点検記録簿の記入ができる。							
3. 授業の到達目標（この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来ようになるのか）							
1. 時間内決められた点検項目を正しく点検し、良否の判定ができる 2. 定期点検記録簿の記入を、正しくできる							
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）							
実技試験（50点）、筆記試験（20点）、レポート（15点）、ルーブリック（15点）計100点で評価							
一級自動車工学科 上記評価にて70点以上で合格とする 自動車整備科 上記評価にて60点以上で合格とする 自動車整備・ボディリペア科 上記評価にて60点以上で合格とする 自動車整備カスタマイズ科 上記評価にて60点以上で合格する 国際自動車整備科 上記評価にて60点以上で合格する							
5. 準備学習							

時 期	1年D巡	単元	実習	教科名	定期点検	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	■導入 法定点検概要 点検整備記録簿記入のルール				インパクトレンチ	12
2	■点検整備記録簿記入のルール / 部品検索(EPC取り扱い)				インパクト用ソケット (21mm)	12
3	■点検作業手順 エンジンルーム					
4	■点検作業 エンジンルーム (F15)				インパクト用ソケット (30mm)	12
5	■点検作業 エンジンルーム(F15-C26)				エアホース	12
6	■点検作業 エンジンルーム(C26)				ハブキャッププライヤ	12
7	■点検作業手順 足回り				ハブキャップ取り付け用ドリフト	12
8	■点検作業 足回り(F15)				エアゲージ	12
9	■点検作業 足回り(F15-C26)				スケール (150mm)	12
10	■点検作業 足回り(C26)				スケール (300mm)	12
11	■エンジンルーム 足回り 習熟確認、レポート作成(F15)				ラジエータキャップテスト	12
12	■エンジンルーム 足回り 習熟確認、レポート作成(F15)				音波式ベルトテンションメータ	12
13	■エンジンルーム 足回り 習熟確認、レポート作成(C26)				トルクレンチ	12
14	■エンジンルーム 足回り 習熟確認、レポート作成(C26)				タイミングライト	12
15	■点検作業手順 下回り				クロームブック	
16	■点検作業 下回り(F15)					
17	■点検作業 下回り(F15-C26)					
18	■点検作業 下回り(C26)					
19	■点検作業手順 室内・エンジンルーム					
20	■点検作業 室内・エンジンルーム(F15)					
21	■点検作業 室内・エンジンルーム(F15-C26)					
22	■点検作業 室内・エンジンルーム(C26)					
23	■下回り 室内・エンジンルーム 習熟確認、レポート作成(F15)					
24	■下回り 室内・エンジンルーム 習熟確認、レポート作成(F15)					
25	■下回り 室内・エンジンルーム 習熟確認、レポート作成(C26)					
26	■下回り 室内・エンジンルーム 習熟確認、レポート作成(C26)					
27	■総合習熟(F15)					
28	■総合習熟(F15)					
29	■総合習熟(C26)					
30	■総合習熟(C26)					
31	■実技評価 (EPC)					
32	■実技評価(点検)					
33	■実技評価(点検)					

■：対面授業

自動車整備科、一級自動車工学科、自動車整備・ボディリア科、自動車整備・カスタマイズ科、国際自動車整備科

2024年度

授業計画

時 期	1年D巡	単元	実習	教科名	定期点検
-----	------	----	----	-----	------

7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	リフト操作時の安全確認	声かけ、視認確認		
2	メカニックグローブの着用	ホイールナットのバリに注意		
3	ハブキャッププライヤの使用方法	手を挟まないように注意		
4	遮熱板点検時の安全確認	板が薄いので手を切らないように注意		
5	リフトダウン位置の注意事項	完全にリフトダウンするとエンジン始動後のATフルード量確認時や灯火装置確認時のエンジン始動中のシフトレバー操作時に車両暴走の危険があるため完全にリフトダウンしない。		
6	エンジン始動時の安全確認	安全確認後、声がける。		
7	ラジエータキャップテストの取扱い方法	暖気後の取り外し時、火傷に注意		
8	セレクトレバーの操作	必ずブレーキをふんで操作する ※シフトロック解除ボタンを使用しない	エンジン始動中、シフトロック解除ボタンでセレクトレバーを操作、ブレーキを踏んでいなかったため走行レンジに入った瞬間車両が発進した	

8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）

実習場	座学教室